

# 家庭学習の手引き

## 家庭掲示用

(保護者用)

- 令和2年度も引き続き、学校教育目標「かしこく なかよく げんきよく」の実現に向け、学校の授業と家庭学習をつなぐ「南小がんばりノート」に取り組み、「よく考え、学習する子ども」「心豊かに、助け合う子ども」「粘り強い、しなやかな子ども」を目指していきたいと思います。
- 家庭学習の手引きを参考に「南小がんばりノート」を継続することで、子どもたちの「学習の習慣化」を図り、できたときの喜びを感じたり、学習の大切さに気付いたりしながら、ねばり強く自ら学習に取り組もうとする「やる気」を持った前向きな子どもに育ててほしいと願っています。

## やらされる「勉強」から、すすんでやる「学習」へ たかが「がんばりノート」、されど「がんばりノート」 → 継続は力なり

### 1. ねらい

小学校での学習は、将来社会人として自立するための基礎となるもので、学力の向上は学校教育の大きな使命です。中でも、得た知識や技能を使って、考えたり、選んだり、伝えたりしながら様々な課題を解決する「生きて働く学力」はこれからの世の中を生きていくために重要な力となります。本校ではこのことに重点を置き、小学校として、その基礎を学年段階や個に応じた身に付けるために授業や朝学習等、子どもとともに取り組んでいます。その一翼を担うのが家庭学習で、家庭のご理解とご協力をいただくことにより、その力はさらに高められると考えています。そこで・・・今年度も

**『家庭学習の手引き(保護者用・児童用)』をよく目にする場所に貼っていただき、家庭学習の習慣化を進めてください。どうぞよろしくお願いいたします。**

### 2. 具体的な手順(参考にして下さい)

#### ① 「家庭学習の手引き(子ども用)」をお子様と一緒に読んでください。

- ・ 学習のきまりや内容、時間まで書いてあります。親子で話し合っ、子どもの実態に即した無理のない取り組みになるような設定をしてください。

#### ② 親子で家庭学習の習慣化を図りましょう。

- ・ 習慣化するまでは、おうちの方の協力や声かけが必要です。できたこと、いいなと思うことを、小さなことでもよいので、ぜひ認めてやってください。

子どもたちはちょっとしたがんばりや変化、進歩などを認められると、やる気がわいてきます。ぜひ、学習したものを見てあげてください。この時の声かけ(プラスの言葉)が次につながります。

#### ③ 学習していて、わからないことなどがある場合は・・・

- ・ 「一緒に」考えてみる
- ・ 「学習の「ヒント」を与えてみる
- ・ 「できる範囲」で教えてあげる
- ・ 「先生に聞いてみようか」など助言する 等々

#### ◆学習が終わったら・・・

- ① 「やくそくどおり、決めたとおりに できたね!」と、認めてあげてください。
- ② 宿題 → 見たところで、ランドセルへ  
→ やり残し、間違いがあったときは、頭ごなしに注意するのは避けましょう。  
少し休んで始めるなど・・・
- ③ 明日のしたくをさせてください。

# できることふやして 夢や希望をふくらませよう

